



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日
東

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所
コード番号 2196 URL <http://www.escrit.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 博
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 高梨 宏史 (TEL) 03-3539-7654
四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,909	22.1	1,742	17.6	1,706	18.2	1,043	19.0
26年3月期第3四半期	13,848	—	1,481	—	1,443	—	877	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,043百万円(18.9%) 26年3月期第3四半期 878百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	88.94	87.62
26年3月期第3四半期	75.36	73.76

(注) 平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	18,728	4,709	25.0
26年3月期	14,910	3,745	24.9

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,689百万円 26年3月期 3,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
27年3月期	—	5.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,348	15.4	2,407	27.7	2,268	25.1	1,355	23.1	116.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	11,793,300株	26年3月期	11,670,000株
27年3月期3Q	652株	26年3月期	606株
27年3月期3Q	11,732,909株	26年3月期3Q	11,639,421株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は以下のとおり機関投資家およびアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成27年1月30日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする各種政策効果が継続し、円安による輸出環境の改善なども伴ったことから、緩やかな景気回復基調が続いております。一方で、消費税率の引き上げ後の個人消費には一部で慎重さが見られ、原材料価格の上昇などの影響もあり、国内景気の下押し懸念は依然として残るなど、先行きには注意が必要な環境となっております。

このような環境下、当社グループは主力事業であるプライダル事業の事業拡大に加え、グループ経営を推進する体制を強化するなど、連結業績の最大化に向けた努力を継続してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高16,909百万円(前年同期比22.1%増)、連結営業利益1,742百万円(同17.6%増)、経常利益1,706百万円(同18.2%増)、四半期純利益1,043百万円(同19.0%増)となりました。

なお、比較対象としての前第3四半期連結累計期間については、期中における連結開始であったため、連結対象となる子会社の業績は、平成25年7月1日から平成25年12月31日までとなっております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(プライダル事業)

プライダル事業においては、平成26年8月に宮城県仙台市に「ラグナヴェール SENDAI」および「アンジェリオン オ プラザ SENDAI」を開業し、東北エリアへの初出店を果たしたのに続き、平成26年10月には東京都豊島区池袋に「アルマリアン TOKYO」および「アヴェニールクラス TOKYO」を開業いたしました。これらの開業に伴う売上に加え、前期に開業した「アルマリアン FUKUOKA」が通期稼働したことなどから、売上高は12,551百万円(前年同期比14.2%増)となり、セグメント利益は、新規施設の開業準備コストが発生したことなどから2,272百万円(同8.9%増)となりました。

(建築・内装事業)

建築・内装事業においては、建材の仕入価格高騰や建設現場の人材難などの要因はあったものの、大型工事の受注や利益率の高い個人住宅などの建築工事が順調に推移したことなどから、売上高は1,884百万円(前年同期比31.3%増)となり、セグメント利益は289百万円(同183.8%増)となりました。

(その他の事業)

その他の事業においては、平日の法人宴会サービスや、子会社におけるコンテナ事業が好調に推移したほか、レストラン事業におけるクリスマスディナーが好評を博すなど売上拡大に寄与いたしました。また、子会社の株式会社渋谷において、不動産売買による大型取引が成立したことなどによる収益の押し上げもあり、売上高は2,473百万円(前年同期比74.1%増)、セグメント利益は331百万円(同80.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,818百万円増加して、18,728百万円となりました。これは主に、有形固定資産が3,329百万円増加したこと、無形固定資産が65百万円増加したこと、敷金及び保証金が588百万円増加したこと、流動資産が298百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,854百万円増加して、14,018百万円となりました。これは主に、長期借入金が2,218百万円増加したこと、資産除去債務が624百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ964百万円増加して、4,709百万円となりました。これは主に、四半期純利益を1,043百万円計上したこと、前事業度の期末配当58百万円を実施したこと、中間配当64百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日公表の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社グループでは、従来、有形固定資産の減価償却方法について定率法（ただし、建物については定額法）を採用していましたが、第1四半期連結累計期間より、主要な有形固定資産の減価償却方法について定額法へ変更致しました。

この変更は、平成25年5月10日に発表した中期経営計画を達成するため、出店エリアをこれまでの首都圏、名古屋、関西の大都市圏から全国の都市部へと拡大して行くことを契機に、当社グループの有形固定資産の使用実態を見直したことによるものであります。その結果、従来より進めてきた接客に関する情報の定量的分析による施設運営や営業支援の仕組化の浸透により、従前と比して受注および施行がより安定的に推移する傾向が判明したこと、並びに現状の新規出店がお客様のニーズに基づき長期的な視点で行われるものに変化していることから、耐用年数にわたり一定額の費用が計上される定額法へ変更するものであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較し、減価償却費は281百万円減少し、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ281百万円多く計上されております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,209,160	3,825,127
受取手形及び売掛金	143,850	301,644
完成工事未収入金	223,761	112,050
商品及び製品	86,510	149,826
販売用不動産	371,823	316,918
原材料及び貯蔵品	51,155	71,020
未成工事支出金	242,182	201,488
その他	456,969	508,986
貸倒引当金	△3,905	△4,085
流動資産合計	5,781,508	5,482,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,479,483	8,136,932
その他	776,957	1,449,177
有形固定資産合計	6,256,440	9,586,109
無形固定資産		
のれん	249,155	205,186
その他	184,987	294,941
無形固定資産合計	434,143	500,128
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,962,355	2,550,791
その他	495,924	629,423
貸倒引当金	△20,318	△20,954
投資その他の資産合計	2,437,961	3,159,259
固定資産合計	9,128,544	13,245,498
資産合計	14,910,053	18,728,476

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,205,216	1,015,267
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,846,528	2,087,610
未払法人税等	571,468	310,146
未払金	1,029,278	790,550
工事未払金	241,998	268,718
前受金	670,579	798,218
その他	1,119,737	1,126,966
流動負債合計	6,684,807	6,697,477
固定負債		
長期借入金	3,615,504	5,833,585
資産除去債務	678,998	1,303,872
その他	185,243	183,759
固定負債合計	4,479,745	7,321,216
負債合計	11,164,553	14,018,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,327	565,182
資本剰余金	497,327	523,182
利益剰余金	2,678,646	3,599,148
自己株式	△126	△187
株主資本合計	3,715,175	4,687,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,077	2,539
その他の包括利益累計額合計	2,077	2,539
新株予約権	28,248	19,914
純資産合計	3,745,500	4,709,781
負債純資産合計	14,910,053	18,728,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,848,139	16,909,154
売上原価	5,551,988	7,120,156
売上総利益	8,296,150	9,788,997
販売費及び一般管理費	6,814,478	8,046,227
営業利益	1,481,672	1,742,769
営業外収益		
為替差益	4,685	29,918
その他	23,641	12,549
営業外収益合計	28,327	42,468
営業外費用		
支払利息	56,587	64,289
その他	10,228	14,422
営業外費用合計	66,815	78,712
経常利益	1,443,183	1,706,525
特別利益		
新株予約権戻入益	1,260	3,142
特別利益合計	1,260	3,142
税金等調整前四半期純利益	1,444,443	1,709,667
法人税、住民税及び事業税	582,733	681,443
法人税等調整額	△15,380	△15,283
法人税等合計	567,353	666,160
少数株主損益調整前四半期純利益	877,090	1,043,507
四半期純利益	877,090	1,043,507

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	877,090	1,043,507
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	954	462
その他の包括利益合計	954	462
四半期包括利益	878,045	1,043,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	878,045	1,043,970

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	プライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,992,784	1,435,225	12,428,010	1,420,129	13,848,139	—	13,848,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	103,899	103,899	41,446	145,346	△145,346	—
計	10,992,784	1,539,124	12,531,909	1,461,575	13,993,485	△145,346	13,848,139
セグメント利益	2,086,138	101,862	2,188,000	184,000	2,372,001	△890,329	1,481,672

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業および宴会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△890,329千円には、のれん償却額△29,312千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△861,017千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	プライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,551,701	1,884,315	14,436,016	2,473,137	16,909,154	—	16,909,154
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,819,969	1,819,969	52,055	1,872,024	△1,872,024	—
計	12,551,701	3,704,284	16,255,985	2,525,192	18,781,178	△1,872,024	16,909,154
セグメント利益	2,272,138	289,080	2,561,218	331,700	2,892,919	△1,150,150	1,742,769

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業および宴会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,150,150千円には、セグメント間の未実現利益の調整額△74,820千円、のれん償却額△43,968千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,031,361千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法の変更)

P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」に記載のとおり、当社グループは、第1四半期連結累計期間において、有形固定資産の減価償却方法の変更を行っております。これにより、従来の方法によった場合に比べて当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「プライダル事業」で271,707千円、「その他の事業」で5,955千円、「調整額」で3,782千円それぞれ増加しております。